

**画面を越えてつながる心 ～壱岐市立三島小学校とのリモート交流がスタート！～**

7月9日、本校にとって大変嬉しく、そして未来への大きな一歩となる素晴らしい出来事がありました。長崎県壱岐市にある「壱岐市立三島(みしま)小学校」とのリモート交流会が、ついに実現したのです！

はじめの一歩は、笑顔あふれる「顔合わせ」から

今回の記念すべき第1回目の交流。両校担任間の連絡調整の努力が実りました。当日は、本校から1名の児童、そして三島小学校から2名の児童が参加しました。

最初は画面越しということもあり、お互いに少し緊張した面持ちを見せていましたが、いざ自己紹介が始まると表情は一変。自分の好きなことや学校の紹介をしていくうちに、自然と満面の笑みがこぼれるようになりました。お互いの話を真剣に聞き、うなずき合う姿は、距離をまったく感じさせない温かさに満ちていました。本日、こうして素晴らしい「初対面」のきっかけを作ることができたことを、教職員一同、心から嬉しく誇りに思っております。

職員の熱意が結んだ「対話の架け橋」

この遠く離れた2つの学校をつなぐ試みは、一朝一夕でできたものではありません。ICT機器の環境調整から、子どもたちが緊張せずに話せるようなプログラムの構成、事前準備に至るまで、両校の担任の先生たちが熱意を持って何度も打ち合わせを重ね、努力を積み上げてきた成果です。

両校の担任の先生方の細やかな配慮と熱い思いがあったからこそ、子どもたちの輝く笑顔を引き出すことができました。感謝です。

今後の展望について

今回は「顔合わせ」という小さな一歩ですが、私たちはこれを大きな未来へとつなげていきます。今後は2学期、3学期と少しずつリモートで会う機会を増やし、お互いの地域の特色を出し合うなどして、年度内には本格的な「授業交流」へと発展させていきたいと希望を膨らませております。

少人数だからこそできる、深く、濃い絆の育成。そしてデジタルを活用した多様な視点との出会い。子どもたちがこの交流を通じて視野を広げ、大きく成長していく姿を、ぜひ温かく見守っていただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

リモート交流のイメージ

(実際とは異なります)

